

A photograph showing a student workshop. In the foreground, a large map or architectural plan is spread out on a table. Several hands are visible, actively drawing and marking the map with various colored pens and pencils. The map features a grid of streets and colored areas representing different zones or buildings. In the background, there are stacks of sticky notes in yellow, pink, and blue, and a box of 'PROCKY' brand markers. The overall atmosphere is one of collaborative learning and planning.

日本建築学会「まちづくり展」
学生シャレットワークショップ
「震災復興からまちづくりへ」

2011年4月21日(木)

スケジュール

連続ワークショップ

学生シャレットワークショップ

- 12日 オープニング／神戸からのメッセージ
- 13日 集落の喪失
- 14日 風景のストックを再生するために
- 15日 復興まちづくりと仮設市街地
- 16日 シンポジウム
- 17日
- 18日 漁村・離島の再生
- 19日 長期避難と仮住まい
- 20日 今こそ考える国土計画論
- 21日 大災害に備える国土と事前復興
- 22日 総括討論

- レクチャー、グループ分け、グループ作業
- エスキス、グループ作業
- 中間発表、グループ作業
- エスキス、グループ作業
- グループ作業、最終成果発表

参加者 計40名

広域・グランドデザイン						
A	提案メンバー			サポーター		
	安東政晃	東京大学	M1	紺谷陽平	東京理科大学	B4
	川副育大	早稲田大学	M1	関島毅	東京理科大学	M2
	米舛伊代	広島大学	M1	綾瀬友里恵	東京大学	M1
	奥田朋仁	東京大学	M1			
	畠和宏	筑波大学	M2			
居住・仮設						
B	提案メンバー			サポーター		
	熊坂友輝	宮城大学	B3	山下慶	東京大学	M1
	小松智彦	東京理科大学	B4	木口彩	東京大学	M2
	持田健人	神奈川大学	B4	田中達郎	東京理科大学	B4
	仁藤友理	明治大学	M1	本馬奈緒	宮城大学	M1
	武藤雅昭	明治大学	M1	山崎大樹	東京大学	M1
コミュニティ・ライフスタイル						
C	提案メンバー			サポーター		
	菊池明	早稲田大学	M1	尾瀬淳裕	東京大学	M2
	小林俊之	早稲田大学	M1	上田将史	東京理科大学	B4
	曾根高麻世	明治大学	M1	佐野俊太郎	東京理科大学	研究生
	古跡匡	明治大学	M1	中川那由多	東京理科大学	B4
	浅野純子	東京大学	M1	金 司寛	東京理科大学	B4
	貞富雄太	早稲田大学	M1			
産業・生業						
D	提案メンバー			サポーター		
	中川沙織	明治大学	M1	工藤俊輔	東京理科大学	B4
	加賀敏征	東北大学	M2	飯田 諒	東京理科大学	B4
	小原えり	明治大学	B4	武田健太郎	東京理科大学	M1
	岩城和昭	宮城大学	M2	関谷進吾	東京大学	D3
	竹内彩乃	東京工業大学	D3	工藤茂樹	宮城大学	B3
	佐藤岳志	東京理科大学	B4			

1日目



2日目



3日目



4日目



5日目



提案テーマ

A 復元力を組み込んだ広域ネットワークの再設計

B 生活の再建プログラム

C RE ISHINOMAKI

—コンパクトシティモデルによる石巻市の復興—

D 緑地共生体

—漁港の復興からはじまる、共に生きる暮らしの再生—